

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ラムシルマブ(HCC)
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	切除不能な肝細胞癌
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	He-007
登録日・更新日	2019年8月27日 登録 2020年12月21日 更新
削除日	
出典	サイラムザ点滴静注適正使用ガイド サイラムザ点滴静注液添付文書(2020年11月改訂)
入力者	田中 慎

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ラムシルマブ(遺伝子組み換え) (サイラムザ点滴静注液)	100mg、500mg	8mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	60分 *1	day1
	生理食塩液	250mL				

1コースの期間	14日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(3日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【延期基準】 2~3g/日の蛋白尿 2g/日未満に低下するまで休薬</p> <p>【減量基準】 2g/日以上蛋白尿 発現回数 1回:6mg/kg 2回:5mg/kg</p>
前投薬	ファモチジン20mg、クロルフェニラミン10mg
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能な肝細胞癌患者に対して使用する。 ・初回投与時の血清AFP値に基づき、適応患者の選択を行う(臨床試験では、初回投与21日前までのベースラインを参考にしていた)。 ・局所療法(経皮的エタノール注入療法、ラジオ波焼灼療法、マイクロ波凝固療法、肝動脈塞栓療法/肝動脈化学塞栓療法、放射線療法等)の適応となる肝細胞癌患者に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。 ・0.22μmのフィルターを用いて投与する。 ・蛋白尿の測定は、月に1回は行う。 <p>*1 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。</p>

記入者	田中 慎
確認者	宮地 康僚